

TOWN わたらせ

第722号 2017年 7月8日 (毎週土曜日発行) 無料配布

タウンわたらせ編集室

歯医者さんで歯を削られるのが好き、という人はいないと思います。でも虫歯は自然に治ることはないし、放置したらどんどん進んでしまう。だから、嫌なのは承知の上で覚悟を決めて歯医者さんに来院しているのではないのでしょうか。麻酔をしてもらえば痛みを感じるのは避けられるので、とにかく我慢して治療を受ければひと安心。出来れば二度と歯医者さんの門は叩きたくない、と思っていまませんか？ なのに、何年かすると詰め物が取れて、再び虫歯が再発。また治療を受けざるを得なくなり、泣く泣く歯医者さんの門を叩く、という経験がある人は多いのではないのでしょうか。

え〜！ だって虫歯になったら自然に治らないのだから、削らないければ、もっと早く歯がダメになってしまっているのでは？ と不安になるかもしれません。削られたくないけど、削らないともっと悪い事



日々、つれづれ essay エッセー 「その虫歯、削らないで!!」

石井 和浩 (歯科医院院長)

り、自然治癒力によって進行を止められる段階があります。どの段階でどのような治療をするか。それによって歯の寿命は大きく変わってしまいます。虫歯が出来たからとすぐに歯を削ることは歯の寿命を左右する大きな分岐点と成りうるのです。

虫歯の進行には、ICDAS、キャンブラのような国際基準があります。さらにレーザー診断によって虫歯の進行度合いを数値化する方法もあります。

あなたの、その虫歯は予防的な処置や生活習慣の改善、最新の治療法によって進行を止められる段階かもしれません。まずは、正しく虫歯の段階を診断してもらいましょう。すべての病気には原因があります。ということからは、原因がわかれば進行を食い止めたり、治療することも期待できるといえることです。

歯を守りたいなら、「あれ？ 虫歯かも?」と思っても、その虫歯、安易に削らないで!